

鶯 溪

忍岡高等学校同窓会会報 2019.4.21 No.95

忍岡高等学校同窓会

鶯 溪 会

〒103-0004

中央区東日本橋 2-16-10-504

URL: <http://www.oukeikai.com>
e-mail: oukeikai@ybb.ne.jp

電 話・FAX 03-3851-9889

発 行 鶯 溪 会
編 集 広 報 部

= 香り高い文化の創造 =



関東に春一番が吹いた3月9日(土)に平成30年度の卒業式が母校体育館で行われた。蓬萊園には鶯溪会創立100周年記念事業のひとつとして植えられた杏がたくさんの蕾をつけてほこんでいた。卒業生は220名(普通科156名・生活科学科64名)、鶯溪会からは鈴木会長並びに理事2名が来賓として参列した。校歌斉唱を聴くと、年々卒業生の歌が自信に満ちているよう

卒業式



卒業おめでとう、 入学おめでとう

に思える。校歌CDの効果が表れたのだろうか。

岡島まどか校長は「自分に足りないところを反省し順調であるときもおごることなく感謝の気持ちを忘れない。どんなに辛くても人の道を外れることは決して行わない生き方は人生をより良くしてゆく」と式辞を述べられた。鶯溪会鈴木賢太郎会長は「卒業生の皆さんの入学式に参列してから3年間経ち成長した姿を見て感激した。皆さんの未来は可能性に満ちている。好奇心を持てば可能性は拡がり増えてゆく。自分を信じて未来に立ち向かってほしい」と挨拶した。在校生はお世話になった卒業生への感謝の言葉を述べ、卒業生は沖縄修学旅行の民泊経験を通じて沖縄の暮らしを知り平和への感謝の気持ちを述べた。卒業生退会の際、クラスごとに保護者・担任に対して「ありがとうございましたございました」「先生大好き」「等、学園ドラマのように感謝を表し、先生方の目にも涙々先生と生徒の信頼関係の厚さに

感動し、思わずもらい泣きした卒業式だった。

64期 林 由紀子

* * *

入学式

4月9日(火)、228名の新入生を迎え、入学式が行われた。普通科158名、生活科学科70名(男51名・女177名)入学おめでとう！

第101回定期総会のご案内

令和元年度「定期総会」を左記のとおり開催致します。
鶯溪会発展のため会員皆様多数のご参加をお願い申し上げます。

記

一日時 令和元年5月25日(土) 午後1時30分

一 場 所 中央区

産業会館(地図をご参照ください)

一 議 題

一 平成30年度事業報告及び決算報告

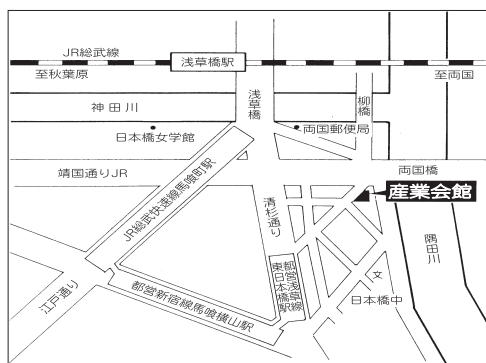
二 役員改選

三 令和元年度事業計画及び予算案審議

四 その他

(総会終了後、懇親会を行います)

以上



●交通機関
都営浅草線東日本橋駅、都営新宿線馬喰横山駅
JR総武快速線馬喰町駅、JR総武線浅草橋駅

主な記事

- ・蓬萊園が整備されました2
- ・同窓の人々
- ・【55期 戸高一成さん】…4
- ・英作文コンテスト文部科学大臣賞受賞…5
- ・忍岡ナウ・部活訪問
- ・(放送部)…6
- ・同期会報告(39期/44期/55期/58期/61期/76期)8
- ・振替用紙通信欄より…10



蓬萊園が整備されました



前号の94号にてお知らせした「蓬萊園整備事業」が今年3月27日、29日に実行された。



公孫樹や紅葉は葉を落とし、椿や桜が花をつけはじめている。鶯溪会が寄贈植樹した杏の木は花の時期を終え、実をつける準備をしているところだ。春休みの静かな校庭に専門業者の方々がチェーンソーの音を響かせ、ネズミモチの大木を伐り倒している。他にも腐っていたり、寿命が来て、倒木の可能性があるエノキ・クヌギ・ムクノキ等を伐採したようだ。

作業が終わった蓬萊園を訪れ

てみると、葉がうつそうと茂っていた夏とは様子が一变し、すっかり見通しが良くなっている。やはり大公孫樹の姿が際立つ。周囲に雑然と生えていた葉蘭が刈り取られ、池の形が見渡せるようになった。

新緑の季節を迎えるころ、大公孫樹を水面に映す瑞々しい庭園になることだろう。

だいぶ先になるが、9月7日(土)に予定されている文化祭にはぜひ母校の蓬萊園を見に来てほしい。

今回の蓬萊園整備事業には、多数の会員の皆様からご寄付をいただき、改めて「蓬萊園」への厚い思いに感動を覚えた(下記参照)。

多くのご寄付をいただいたので、いったん当事業への寄付金募集は終わらせていただく。ありがとうございます。



蓬萊園整備事業寄付金リスト

単位：1口2千円(敬称略)

旧職員	浦部	万里	子雄	4	42	池田	田中	節廣	子廣	2	51	山井	絢子	1	58	江子	正宏	5
職員	中林	靖公	雄生	1	42	田山	山口	泰子	廣子	1	51	井沢	子子	1	58	子藤	宏博	2.5
職員	小江	平	清彦	1	43	山新	山場	篤子	子し	1	51	沢野	子子	3	59	藤謙	介子	1
職員	寺本	敬隆	彦子	2	43	馬千	野念	と節	江美	5	51	保弘	教子	4	60	井田	行司	3
職員	26	佐藤	子子	2.5	43	安仁	念木	克照	美子	1	52	立芳	修子	1	61	尾谷	美一	1
	27	竹居	子子	34	43	福金	島井	久和	子枝	5	52	村澤	州樹	3	61	岩谷	裕敏	5
	29	宅間	美喜	10	43	田仁	中本	町桂	子夫	1	52	建	名江	1	61	千	子子	1
	30	根林	子江	50	44	楠高	山宮	鎮澄	子志	1	53	田川	子子	1	61	内間	子子	1
	30	小岡	子子	3	44	福本	山宮	園清	子枝	3	53	井升	子子	1	62	岸田	子雄	1
	31	岡安	子子	5	45	古高	田本	良佳	子子	2	53	岡藤	子子	2	62	野々	子子	1
	31	中岡	子子	4	45	福古	川井	光信	子子	1	54	藤	子子	2	63	藤本	子子	1
	32	佐藤	子子	1	46	岡山	賀浦	好代	美子	10	54	中井	子子	2	63	横山	子子	2
	33	宮地	子子	5	46	田昌	須賀	江久	子子	1	54	井岡	子子	1	63	飯田	子子	1
	34	山田	子子	3	46	部本	川賀	弥清	子子	5	54	久間	子子	2.5	63	佐野	子子	1
	34	宮阿	子子	5	46	岡本	賀浦	紀	子子	1	54	清三	子子	2	64	藤本	子子	1
	34	阿部	子子	5	46	山岡	賀浦	千	子子	2	54	三栄	子子	1	64	十下	子子	1
	35	外林	子子	3	46	須賀	賀浦	志	子子	5	55	宮千	子子	4	64	玉	子子	5
	35	田口	子子	5	47	松橋	賀浦	紀	子子	1	55	久	子子	1	65	崎出	子子	1
	35	河野	子子	3	47	菅西	賀浦	清	子子	5	55	千	子子	3	65	藤	子子	1
	35	竹内	子子	5	47	橋中	賀浦	忠	子子	1	55	久	子子	5	65	村田	子子	1
	37	井村	子子	5	47	加南	賀浦	一	子子	1	55	子	子子	1	66	林	子子	5
	38	岩島	子子	5	48	武中	賀浦	邦	子子	5	56	子	子子	1	66	中額	子子	1
	38	飯村	子子	3	48	中匿	賀浦	佳	子子	1	56	子	子子	1	67	田木	子子	1
	39	有山	子子	1	48	白大	賀浦	美	子子	1	57	子	子子	1	68	山葉	子子	1
	39	山田	子子	2	48	金池	賀浦	子	子子	5	57	子	子子	5	70	村山	子子	1
	40	河村	子子	5	49	野田	賀浦	子	子子	1	57	子	子子	5	70	千桐	子子	1
	40	田山	子子	1	49	池小	賀浦	子	子子	1	57	子	子子	5	73	飯高	子子	1
	40	山前	子子	2	49	永瀬	賀浦	子	子子	2	57	子	子子	5	76	新渡	子子	5
	40	森山	子子	1	49	久深	賀浦	子	子子	1	57	子	子子	5	39	大奥	子子	1
	40	山口	子子	5	49	稲佐	賀浦	子	子子	1	58	子	子子	5	39	野	子子	1
	41	伊藤	子子	1	50	藤	賀浦	子	子子	1	58	子	子子	1	49	野	子子	1
	41	丸尾	子子	5	50	保田	賀浦	子	子子	1	58	子	子子	1	53	野	子子	1
	42	三浦	子子	1	50	保田	賀浦	子	子子	1	58	子	子子	1			子子	1
	42	高嶋	子子	1	50	保田	賀浦	子	子子	1	58	子	子子	1			子子	1
	42	小池	子子	1	51	保田	賀浦	子	子子	1	58	子	子子	1			子子	1
	42	浅井	子子	5													子子	1

484.5口 969,000円
(2018年10月31日～
2019年3月31日)

シリーズ

①

思い遙かに蓬萊園

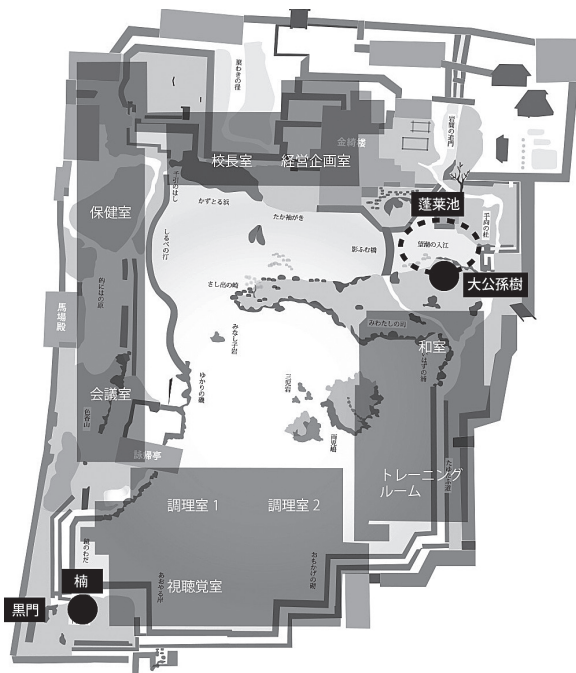


忍岡高校がすっぱり収まる
蓬萊園は、江戸三名園のひとつ

左の図は、現在の校舎の配置を現存する絵図に当てはめてみた想像図だが、ご覧のように現在残っている蓬萊池は蓬萊園三十六景の中の「手向けの杜」と

「望潮の入江」の一部であった。

蓬萊園は、今の佐賀県、長崎県にあたる平戸藩松浦家が徳川家光より浅草向柳原の地を賜わり、この地に池庭を築き「向東庵」を営んだのが始まりで、後に「蓬萊園」と称する。敷地は約2、600坪あり、現在の忍



蓬萊園の絵図に現在の校舎を大公孫樹と楠を基準に配置した想像図

代々の忍岡関係者が守ってきた
大公孫樹と蓬萊池そして楠

岡高校とほぼ一致する。大正三年刊行の「浅草区誌」によると、大池を中心に、岡を築き、樹木を植え、東屋を建て、十三基余の燈籠を配し、園内各所に雅趣ある三十六景の名称を付したとある。

昭和12年、手狭になった下谷池之端茅町の校地を他に求めることとなり、忍岡高等女学校の新校舎敷地として浅草向柳原の江戸三名園のひとつである旧松浦邸蓬萊園跡と定められ、移転が決まった。

昭和13年11月に起案され15年11月25日落成、喜びの中移転が行われた。当時の新校舎建設に携わった山本勘助校長および職員

の感想というところ「大きな公孫樹ですが、そこへ校舎を建てたらいよいよ。池の縁に順々に建てるか、どうしようか、なんて話があって、結局池を埋立てて……」（新居芳男氏）「東京の真中にこんな秀麗なものが残っていたのかと驚くような名園でしたね。埋立てていくのが惜しくなり、一部残しました。」（川島勝氏）。



手前「望潮の入江」の一部が現在の蓬萊池となっている。奥に大公孫樹が見える

昭和35年に鉄筋4階建ての校舎が建てられた時も、高田善之校長が名園の面影を保存することに特に気を配り、大公孫樹と蓬萊池、そして楠をそのままの姿で残している。

情緒を育む和室と茶室、
恵まれた環境での人材育成

後の13代校長の三室岩吉氏は65周年記念誌への寄稿の中で次のように述べている。

「上野から現在地へ移る際、蓬萊園をつぶして学校をたてることについて、相当の反対があった。今の時勢では到底できなかったに違いない。東京における緑地の確保のため。何しろ蓬萊園は小石川の後樂園や六義園などとともに江戸の名園の一つといわれたのだから。それを当時の東京市当局があえて踏みきったのは、庭園よりもっと重要な「人材」を作りたかったからであった。」

さらに、「この当局の見識と英断を思うと、ここにある伝統的環境は何としても維持し、発展させねば申し訳ない気持ちで一杯であった。」（70周年記念誌）とも述べている。



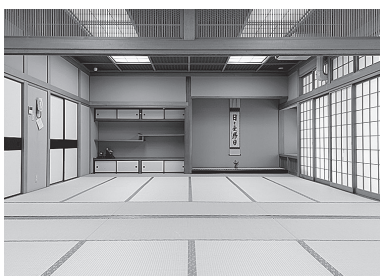
現在の保健室付近から南方面を望んでいる。右手には梅林が広がっていた

良い教育を生む良い環境

事実、樹齢数百年の大公孫樹と歴史を刻んだ池、そこに茶室と和室のある公立の高校は他には見られない。こうした歴史と伝統に恵まれた環境の中で多様な時期を過ごせた忍生は、自覚しないままに穏やかで優しく、思いやる心を育んできたものと思われる。

現在鶯溪会の協力により蓬萊園の整備が進められているが、今後も、息の長い活動をしていきたい。

格技棟1階にある和室障子を
開けると廊下の向に蓬萊池が



和室の奥にある
本格的な茶室



同窓の人々

大和ミュージアム

(呉市海事
歴史科学館)

館長

戸高 一成さん (55期)

大和ミュージアムは、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」とその近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした「科学技術」を当時の生活・文化に触れながら紹介する博物館である。館内のシンボルである10分の1の縮尺で再現されている戦艦「大和」は、平和の大切さと科学技術の素晴らしさを後世に語り継いでいる。

平成17年の開館以来、毎年100万人近くの来館者を迎えているが、市立の博物館としては日本一の来館者数(集客数)であり、呉市の誇りともいえる施設である。そのミュージアムの館長が戸高一成さんであるが、どんないきさつで忍岡高校の卒業生が呉市で活躍されているのかお話を伺いした。

在学中の部活は美術部と地学部で「のんびりで穏やかな校風」が自分に合っていたらしく高校時代をのびのびと過ごしたそうだ。

特別な思い出としては、10点評価の通知簿で1から10までの各評価を全部取ったことで、こんなに成績に幅のある生徒は他にはいなかったようだ。

得意科目は部活部長を務めた「地学」、苦手科目は「数学」で多摩美術大学を受験したのも「数学がない学校」というユニークな理由であった。



戸高さん曰く、とにかく自分
は「無類の本好き」で中学・高校時代は地学、天文学、歴史・美術の書物に没頭、また「古本」も大好きで古本探しにいとまが

なかったとのこと。

そして現在の住居への引っ越し理由が、前の家が古本で埋まったからというくらい古本マニアである。

そんな趣味が講じて、社会人になってから「司書の資格」(図書の分類整理、貸出業務等の専門職の資格)を取得したが、海軍資料を集めた資料館で熱心に「海軍の歴史本」を読みふけている自分に、ある日資料館の会長から声がかかり、財団法人「史料調査会」を手伝うことになった。

そしてこの調査会では、海軍関係書類整理の一環として「高松宮殿下」ほかの皇族の方々に接見する機会を得ただけでなく、貴重な関係資料もいただいた。

更にここでの資料整理が始まりで、後に厚生省(当時)から「戦争中の生活を中心とした博物館作り」の推薦を受け、平成11年に「昭和館」を九段下に作った。

その後、これらの実績を踏まえ「大和ミュージアム館長就任」の要請があり一度は断ったが呉市長が直接自分を訪ねて来られたので決心したとのことである。平成17年館長に就任以来、館長の仕事は「営業マン」と心得、機会ある毎に多方面に出向き大

和ミュージアムのPR(集客)に努めてきた。

現在の住まいは千葉県であるが、ミュージアムには1週間おきに毎月2回ほどの日程で片道6時間の新幹線通勤をしている。主としてミュージアムや呉市のイベントに合わせ出勤するほか、館長の応対を要する来賓が来られる時に出勤している。

館長として「企画展」や「全体計画」にも参加するが、軌道に乗ってしまえば館外での営業活動に力を入れることが主になっている。

普段は事務局長がミュージアムに常駐し、呉市役所職員が管理にあたっているが、館長との信頼関係は厚く盤石の運営体制で、2018年度には来館者数が1300万人を突破した。

戦艦大和の造船開発は、戦争の抑止力にはなり得なかったという反省を込めた「平和の大切さ」がミュージアムの主たるテーマであり、造船開発による技術力の活用により、呉市が世界一の大形タンカーを作ったという「平和的活用」についても強く主張している。

またボランティアガイドの方々の熱の入った説明も、来館者の共感を呼んでいる。戸高さんのお話を振り返る



縮尺10分の1の「戦艦大和」

と「無類の本好き」が全ての始まりだったようである。

そもそも幼稚園の頃から船が好きで「海軍関係」に芽生えていたらしいが、これに「古本好き」と「司書の資格」が加わると現在の戸高さんの職務もうなづける。

今年古希を迎えた55期の同期会を開催するそうであるが、ミュージアムのPRを柔和な笑顔と軽快な口調で行い、出席の同期生を楽しませることであろう。そして戸高さんが館長でいる限りミュージアムの来館者数が減ることはないと確信して取材を終えた。

57期 田中 修

全国高等学校生徒英作文コンテスト 最優秀賞・文部科学大臣賞受賞

第57回全国高等学校生徒英作文コンテスト(全国英語教育研究団体連合会主催)において、応募総数11,851作品の中からみごとに母校から2作品が選出された。

2年生の藤原芳匡さんが「最優秀賞・文部科学大臣賞」を受賞し、3年生の中野柚さんが入賞を果たした。

「外国人に対する差別や偏見のない社会」を実現してほしいという思いを自身の小学校時代の体験を例に挙げながら、日本の現代社会の現状を分析した藤原さんの作品。

「食品衛生の基準が世界的に設けられた社会」を実現してほしいという願いを自身のアメリカと日本における経験を比較した中野さんの作品。両作品とも自身の熱い思いを600字の英作文にまとめている。

受賞した作品は、当コンテスト主催者に著作権があるため、残念ながら全文の掲載はできないので、藤原芳匡さんの作品の一部と英語科篠原直斗先生の要約をご覧ください。

A Society I Want to Be Realized

"You are just a half Russian and half Japanese FAILURE", sneered the junior high school classmates of Nicole Fujita, a famous fashion model. I was watching a Japanese TV program in which "half entertainers" - entertainers who are half Japanese - were sharing their miserable experiences with being bullied when they were students. Zawa-chin, a female comedian, was called "Ganguro" by her classmates, which literally means "black skin", and refers to people who have fake black or tanned skin, because she was half Filipino and half Japanese. This term is culturally insensitive to people of other nationalities and skin colors. However these cases only happen to them, and don't you only hear about them on the news or TV? Unfortunately, I had similar bad experiences. Why does this happen?

~~~~~ 中略 ~~~~~

They will change the stereotypical idea of what it means to be "Japanese", and phrases like "go home" will no longer be said as they will truly make Japan a livable country, a home for everyone.

## 【要約】私が実現したい社会

ある日、私はいつものようにテレビをつけると、たまたまやっていたハーフ芸人特集の番組にくぎ付けになった。ファッションモデルの藤田ニコルや芸人のざわちんなどのいわゆる「ハーフ芸人」は学生時代に受けた悲惨ないじめや差別について語っていた。「なぜ、このような悲惨な出来事が繰り返されるのだろうか。ハーフや混血に生まれた私たちがありのままを受け入れられる社会で生活できたらいいのに。」と僕は強く彼らに共感した。

私は日本人とフィリピン人の母の間に生まれた、いわば「ハーフ」である。フィリピンは発展途上国で、貧困に苦しみ、教育環境が劣悪である。しかし、私は日本で生まれ、日本語を話し、みんなと「同じ」ように生活しているのにも関わらず、「お前はハーフなのに役立たずのばかだ」とクラスメイトに罵られた。また、私はテスト返却の際には、他のクラスメイトにテスト用紙を取られ、テストの点数をみんなの前で発表され、「せいぜい底辺のフィリピン人らしくがんばれよ」と強烈な言葉を突き付けられた。私は彼らの言動がこれまで代々踏襲してきた日本人の外国人に対する固定概念からくるものだと感じた。

「ハーフは祖国に帰れ。」といった日本人の痛烈な批判は偏見や差別からもたらされる。2014年の厚生労働省の調査によれば、日本で生まれる約100万人の赤ちゃんのうち30~40%はハーフまたは混血であることがわかった。その一方で、2016年の法務省の調査によれば、約40%の外国人は賃貸契約を断られ、25%の外国人は就労を断られた経験を持つことがわかった。これは、単純に日本で合法化された「外国人差別」が原因であったことは明白である。私は自身の経験を通して、このような悲惨な現状を何とか改善したいと強く願う。過ちを繰り返さないために私ができることは、一国際人としての感覚を日本人の中に育てること一つ、つまり、「外国人」である私が教師となり、今後の日本の大いなる前進に向けてサポートすると強く決意した。

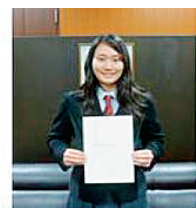
差別を取り除くことはだれもが受け入れられる平等な社会形成への大きな一歩であると私は確信している。残念ながら、私が生きている間に、実現したい理想の社会は見られないかもしれない。だが、国際感覚を持った人材育成を進めることで、私の意思を受け継いだ未来の生徒たちが古い固定概念を開放し、国際感覚をもった真の「日本人」を形成し、日本の未来を大きく前進させるだろう。そうすれば、日本は本当の意味でみんなにとっての「居所-home」になるのだから。



最優秀賞・文部科学大臣賞  
2年 藤原 芳匡

今回、私は新たな取組として、この英作文コンテストに挑戦しました。私は文化祭実行委員長兼執行部役員としての責務や生徒会役員としての仕事に加え、夏期講習での勉強に忙殺されていましたが、なんとか時間を作り、無事にエッセイを書きあげることができました。先生から最優秀賞受賞の知らせを聞いた時、驚きを隠せませんでしたが、素直に嬉しく思いました。これまで指導してくださった先生方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

私は受験勉強と両立しながら、夏休みの短い時間に集中して、この英作文コンテストに挑戦しました。今回のテーマである「私が実現してほしい社会」を通して、私が高校生活で学んだことやアメリカ留学時の体験で感じたことを表現することができる良い機会だと思い、審査員の方々に自分の思いを最大限伝えられるように努力しました。そのため、先生方から入選の知らせを聞いた時、とても嬉しく思いました。



入選  
3年 中野 柚



母校ホームページより転載

◎平成30年10月18～21日

## 修学旅行

2年生は3泊4日で広島県へ修学旅行に行き、3つのテーマで体験学習をしてきました。

### 1日目

#### テーマ

《平和学習を中心とした広島》  
この日は、広島原爆資料館の見学・「ヒロシマの有る国で」の合唱・千羽鶴の寄贈・忍岡（オシオカ）さんの平和講和・灯籠流しを体験し、戦争の悲惨さと原爆の恐ろしさを改めて感じました。平和が当たり前ではなく、私達が平和を守っていかなくてはいけないと強く感じました。

### 2日目

#### テーマ《知りたい広島》

この日は班ごとに5つのコース別体験学習をしました。  
Aコース..

#### しまなみ

#### 海道サイ

#### クリング

#### （写真

#### 下）・千

#### 光寺散策

#### Bコース..

#### しまなみ

#### 海道サイ



◀ 錦帯橋



▶ フェリーで宮島へ

クリング・尾道自由大学（食育学・デニム学・尾道散歩学）  
Cコース..

広島護国神社・被爆老人ホーム・宮島・手作り体験  
Dコース..

錦帯橋・岩国城・宮島

Eコース..宮島弥山ハイキング  
3日目・4日目

#### テーマ《広島の自然と人情》

「安芸太田町と北広島町」

民泊先では広島お好み焼きや押し寿司を作ったり、祇園坊柿を収穫して皮をむいて干し柿作りを体験、他にも農作業・薪割り・お寺の鐘つき・草むしり・神楽などを体験しました。1泊2日の短い時間でしたが、安芸太田町・北広島町の人情あふれる人々の温かさに包まれ、とても楽しく幸せな時間を過ごすことができました。

## 主な学校年間行事

|        |        |
|--------|--------|
| 4月8日   | 前期始業式  |
| 4月9日   | 入学式    |
| 6月3日   | 体育祭    |
| 7月21日  | 夏休み    |
| 8月31日  | 文化祭    |
| 9月7日   | 前期終業式  |
| 9月30日  | 後期始業式  |
| 10月4日  | 宿泊防災訓練 |
| 10月11日 | 修学旅行   |
| 10月12日 | 冬休み    |
| 12月10日 | 卒業式    |
| 12月13日 | 修了式    |
| 12月26日 | 春休み    |
| 1月7日   |        |
| 3月7日   |        |
| 3月25日  |        |
| 3月26日  |        |

## 部活訪問

### 《放送部》

下校を急ぐ生徒たちの中、放送部の部活動取材するため、2階にある放送室を訪ねた。「こんにちは」と明るい声が聞こえる。3年生が卒業し現在部員は4人。新1年生の獲得に燃えている。部員の数が減ってしまふと廃部になる恐れがある。

活動報告会で勧誘するが、持ち時間が限られている。精一杯のアピールをと作戦を考えている。スピーカー、マイクロフォンなど、機材がたくさんあり、部屋の真ん中のスタンドに、4本のマイクが組み立てられている。これは一人の部員がスタンドを



見つけ組み立てたそう。それが、いかにも放送室スタジオという感じになっている。

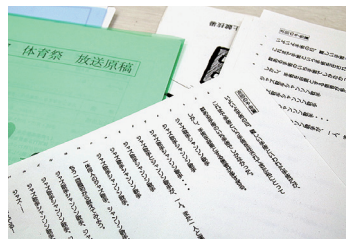
（昔の放送部員としてはまだ古い校舎の頃、講堂の片隅にあった部室を思い出し、感慨深い）

現在の主な活動は、学校行事（文化祭・体育祭など）の際のアナウンス、NHK杯・東京高文祭への参加など。

昨年の文化祭では、文芸部とコラボした。

NHK杯は、アナウンス部門

と朗読部門で課題があり、「毎年体育祭のすぐ後で、中々練習ができず、いつも予選落ちです」と笑う。東京高文祭では、1分半の持ち時間で、それぞれが好きな本を朗読するという。早口言葉や活舌が良くなる練習などしている。



機材や資材が、多々あるので活用を目指したいと、また行事がないので、冬は冬眠状態が伝統になっているが、冬の間の活動も考えてみたいと話す。

最後に、4人でマイクの前立って物語を朗読する。声のトーンがそれぞれ特徴があり、この声で役を考えての放送劇を聞きたいと思った。

取材協力 山下先生（顧問）

部長の安田さん・矢島さん・

小薄さん（3年）

長途さん（2年）

取材 53期 中西 弓子

62期 須賀 和男



## 新副校長

塚本久美子先生着任

加藤孝行副校長は、文京区向丘高校校長先生として転任され、新しく塚本久美子副校長を迎えました。ご自身の出身高校は千葉県松戸市の県立小金高等学校とのこと、着任のご挨拶をいただきました。

4月から東京都立忍岡高等学校に副校長として着任しました塚本久美子と申します。よろしくお願いします。



前任校は、葛飾区にある都立農産高校全日制でした

ので、蓬萊園を見ながら時折思いついています。

忍岡高校の魅力は、何といっても「豊富な選択科目」と「1年次からの段階的なキャリア教育」にあると思います。現在、本当にやりたいことが何なのかが見つからない高校生が多い中、あらゆる角度から自分を見つめることができ、自身の興味の関心を高めながら学んでいくことができる環境は、本校独自のカリキュラムであるといえます。

普通科と生活科学科がともに学べる環境を最大限に生かしながら、委員会や部活動で意見を

交わし、汗を流し、勉学に行事に真剣に取り組む忍岡生を今後も育てていき、生徒一人一人が輝く場所がある学校づくりに力を尽くしていきたいと思っています。

## 百周年記念誌および校歌CDの販売中

高校時代はすべての人にとって楽しかったとは言えないだろう。しかし、百周年記念誌に語られている話は、楽しく、語っている人たちは明るく夢いっぱい、に当時は振り返っている。各年代により当時の時代背景も垣間見え忍岡高校の歴史と共に社会情勢を感じられる貴重な一冊だ。忍岡高校100年の歴史もコンパクトにまとめられていて一気の時空を飛び越えることができる。



百周年記念誌

校歌CDは、同窓生の女性コーラスグループ、千鶯会のメンバーがこのCDのために録音した完全オリジナル。現在の校歌の他に女学校時代のたおやかな校歌も入っていて貴重だ。

## 鶯溪会百周年記念誌

## 校歌CD

1冊 2、000円

1枚 1、000円

(両方とも送料込み)

ご希望の方は振替用紙によりお振込みください。

## 保護者会会長が

## 代わりました

平成30年度の保護者と教師の会（PTA）会長を昨年から務めています物永裕司（写真）と申します。皆様のご支援をいただきながら、精一杯励んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



平成30年の入学式では普通科名158名、生活科学科70名、計228名の新1年生を迎えました。

これからの教育に関しては、2020年に戦後最大の教育大改革が行われ、大学センター試験が大きく変わることにになりました。平成30年度入学生が対象となり、入試改革への対応が気になるところです。特に近年はグローバル化の潮流もあり、新テストの導入に際し「知識や技

能」だけでなく「思考力や判断力、表現力」といった部分を重視するという考えがベースとなり、教師だけでなく、保護者それぞれの教育観が求められていると感じます。そして昨年の夏、生活科学科の生徒たちは第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表東京大会の事務局を務め、大きな成果を上げました。

また「都立学校へ行こう！」をテーマにした番組の中で、忍岡高校の学校生活が紹介されるなど、マスコミを通して生徒の取り組みが伝えられました。

求められる教育が変化する中、体育祭、忍祭などに足を運んでいただけでは、子どもたちの生活、友人関係などを垣間見ることはできないと思います。

鶯溪会の皆様と共に、これからの未来を担う子どもたちの成長を見守りながら、忍岡高校の発展のために微力ながらお役に立てればと思っております。

今後とも忍岡高校の活動のご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 千鶯会だより

32期 吉岡 真玉

昨年の台東区合唱祭は、浅草公会堂で、8月12日に行われました。千鶯会は、タンゴで「小雨降る道」「碧空」を再び歌いました。昨年の夏はきびしい猛暑で、合唱祭当日も猛暑と、お盆休み前と重なり、出演する人達も、ご来場下さる方達も大変な苦労でした。講評の笹口先生や、ご来場の皆様のアンケート等を抜粋してお知らせします。笹口先生からは、良い点として、合唱の枠にとられない音楽作りを、努力点として長いフレーズを歌う時の身体の支えを評されました。ご来場の方々のアンケートからはタンゴの合唱曲は珍しく、よく頑張っている、衣装が曲にピッタリ合っていた、少し声が揃わなかった、というようなご意見でした。

今年の合唱祭は、やはり浅草公会堂で9月29日（日）に行われます。千鶯会は「小さな秋みつけた」「石うすの歌」「雪の降る町を」と秋から冬にかけての歌を歌います。昨年同様大勢御来場下さい。



# 同期会報告

## 39期同期会

39期 有田 菊枝

隅田の集い

39期卒業の私達は前年10月の同期会を最後として残念ながら終止符を打ちました。

ところが今年の夏から次々と襲来する台風の10月半ば過ぎ、誰云うともなく元気な友よ集まりましょうよ、という声があがり在原マサさん、久勝陽子さんが急遽ご尽力くださり11月2日に墨田区吾妻橋際のアサヒ・ビール本社21階の料亭「もちづき」に同期友人10名が参集してくだ



さいました。当日はびっくりするほどの好天に恵まれ窓外の景色が素晴らしく、眼下に隅田の流れ、少し遠くに浅草寺の御堂や五重ノ塔が眺められ、ゆったりとした良い気分になりました。

美味の食事をいただきながら楽しい話に花が咲き、次にもう1階上の22階天井ドームの喫茶コーナーでまた語らいに興じ、気がつけばアツという間のひと時でした。

短か日の夕近く、次の年も元気でまた会いましょうね、と手を握り合ってお別れしました。

## 44期同期会

44期 西山千鶴子

クラス会って「いいね！」

私達3年C組は、隔年でクラス会を行っており、今回は30年10月19日銀座の「いらか」で11名（男性3名・女性8名）の参加で行われました。

わずか2時間ばかりでしたが皆様、日頃の81歳のわが身を忘れ、真逆の18歳の高3に戻り元気一杯のパワーをいただけた一時でした。

クラス会はどんな長寿薬よりも、若返りに抜群の効果有です。皆様、別れを惜しみながら、2年後の再開を約束しました。



## 55期同期会

55期 吉添 護郎

平成最後の早春3月16日に、本所吾妻橋のレストラン「ラ・ラナリータ スカイルーム」にて第55期同期会の「古希を祝う会」が、出席者57名で開催されました。

10年前に「還暦の会」を開催した際に、出席者全員で次は10年後に「古稀の会」を！と約束した「お約束の同期会」です。

開始30分前の開場時間から三々五々来場された方々が、すぐに旧交を温める人の輪を作り、和やかな雰囲気の中幹事の開会の挨拶から古稀の会は始まりま

した。

全員での集合写真撮影、クラス別の記念撮影の後全員で乾杯（その前に既に予行演習がありました）として歓談が始まり、クラス毎やグループ毎等様々な人の輪が出来て、笑い声や歓声の中暖かい時間が過ぎて行きました。

現役時代から仲の良かった同期でしたが、50余年の歳月を重ね年輪を重ねたクラスメイト同士、時間の壁を越えて一層の親しみを持って集っている光景は感慨深いものでした。

30名近い物故者のご紹介と献杯、出席できなかった方々からの近況紹介、校歌の合唱とプログラムは進み、中締め挨拶の後幹事から忍岡高校全体のOB会「鶯溪会」からのご支援の紹介と活動への協力の依頼がありました。

予定の3時間はあっという間に過ぎ、幹事から閉会の挨拶があり、次回は7年後の「喜寿を祝う会」とは言わずに「思いついたら直ぐに開催」と言う提案を全員一致で了承し、全員が「元気なじい」とばあ「で再会することを約束して閉会しました。尚、開催に際して「鶯溪会」からはご支援を頂きました。ここに御礼を申し上げます。

また、宴席で募りました募金（25,000円）を鶯溪会の活動に寄付させて頂きましたことを報告させて頂きます。



第68回 江戸趣味納涼大会 うえの夏まつり

**Back To The Country Music!!**

第7回 ビッグウエスタン 2019 Summer

日時/8月12日(祝) 開場 15:30/ 開演 16:00/ 終 19:30

チケット料金 一般前売り/1,200円 一般当日/1,500円  
高校生以下・外国人割引/500円(当日のみ)

会場/東京都立 上野不忍池 水上音楽堂

お問い合わせは 47期 加藤 肇 まで

tel:03-3998-6631/ 090-3132-5577



## 58期同期会

約120名が近況を共有

58期 金子 壽宏

58期は、昨年の平成30年10月27日(土)に第8回目の同期会を開きました。第1回を50歳の年に開催してから17年、参加人数の増減はありましたが、最近では60名ほどの参加者で安定してきました。

当会では、発足当時からの中心者である石川辰夫くん(故人)の考えで、寄せられた100人余の近況報告をプリントし、会場で配っています。会話のきっかけになったり、参加できなかった人へ思いを馳せたりと、なかなかの役立ちツールとして活用されています。さらに、当日の様子をアルバムのにまとめた「同期会の報告」を後日参加者に郵送するサービス(?)も行っています。



て、あの感動を二度楽しめるようになっていきます。同期会に参加できなくても通信費

1000円を送って頂いた人には、「近況報告」と「同期会の報告」を発送しています。このセットを見れば大体の同期の仲間の様子がわかるので最近では60名近くの人からの申し込みがあります。と言うことで参加者と合わせて約120名が現在の58期のアクティブな仲間と言う事になります。

当会の実行委員としては、現在20名ほどの幹事がいて運営を担い、年に二、三度集まり何かと理由をつけては楽しく飲んでいます。

ここに来て会長の杉広三郎くんと、会の中心で活動していた石川辰夫くんを相次いで亡くし寂しくはありますが、代わりを



キッチリ務める事のできる人材がたくさんいるのが58期です。仲良く楽しく、そして末永く同期会を続けていけるように頑張っています。

## 第5回61期生同窓会

61期 六本木 健

残暑とは言えぬ猛暑日の続く9月8日(土)に、お馴染みとなりました上野公園のレストラングリーンパークにて開催しました。

今回初めて恩師の先生方のご

出席叶わず、時の流れに一抹の寂しさを覚えました。後藤秀雄先生と中川英孝先生は猛暑の中の移動は如何ともしがたく、小林公生先生は古稀野球クラブで活躍されてお元気ですが先約と重なり誠に残念とのことでした。我々同期生は、新規参加5名を含み73名の出席を得ました。

会の進行は乾杯の後、鶯溪会評議員水島君の発議により、これまで身罷れた恩師と同期生に対して全員で黙祷を捧げました。

亡き恩師亡き友の思い出で暫ししみりましたが、徐々に和気藹々となり、思い出話に花が咲き楽しい話題で盛り上がりました。会の中盤から有志による在学時代のビデオが公開され



忍岡で過ごした青春を蘇らせていただきました。楽しいときは瞬く間に過ぎて、一次会の中締め、二次会の締めにて終了となりました。

終了時にはお互いの健康を気遣い、次回の再開を誓い合う姿が多数見られました。今回病気療養中で参加叶わなかった友も鶯溪会報で勇気づいて頂ければ幸いです。

末節になりましたが、今回も会の運営の為に常日頃よりご協力賜り、又当日も早くから準備に勤しんで頂きました実行委員の皆様感謝いたします。

次回は古稀の同窓会と案案しておりますが6年の間が空きますので、流動的ではありますが古稀の前に開催するかもしれません。

せんで、その時は皆様宜しくお願い致します。

それでは次回までお身体大切にお過ごしください、恙無く。

## 76期同期会

76期 茂田 憲秀

平成30年11月10日(土)に秋葉原にて同期会を行いました。

先生方にも参加していただき、久しぶりに再会した同級生も多く、皆さまとても懐かしい思いで楽しく過ごしました。集合写真を送ります。

(Eメールより)



## 振替用紙通信欄より

旧職員 小林 公生

鶯溪会役員の皆様—100周年記念—お疲れ様です。大変立派な周年行事でした。私は48年前、大学卒業後22歳で忍岡高校に赴任しました。前田家の黒門、蓬菜園が忍岡高校に現存しているのに驚愕しました。

妻は前田家の家老の末裔ですが、私は茨城の貧百姓の子孫です(笑)。

第34期 宮田 昌子

終戦後に、上野一帯の焼野原の中、天に向って凜と立つ大銀杏を見た私は生きる力を持ちました。後輩の皆様の熱い御気持ちに心から感謝と御成功祈ります。有難う!!

第37期 平田 重子(浜田)

なつかしい場所が、復活されます様に、お祈りします。ご苦勞様です。

第40期 河村 郁子

蓬菜園は60年(半世紀)以上経った今でも6年間の思い出いっぱいです。皆さんありがとうございます。

第42期 高嶋 節子(萩原)

会報たのしく拝見しています。卒業後64年、83歳になりました。蓬菜園を再生との記事に、蓬菜

中学校から、忍岡高校と6年間、慣れ親しんだ沢山の思い出が甦り、会いに行きたくなりました。元気でいたいと思います。

第44期 田中 桂子(政平)

山内さん、橋本さんのお名前を見て60?年前の高校生の顔がすぐ浮かびました。落合さんもネ。なつかしいこと!! 私も80歳になりました。

第44期 勝村 節子

毎号、熟読しており、編集が楽しくも又、大変なこともあろうかと思っております。

第44期 金井 町枝(石井)

同窓会幹事の皆様、同窓生の為に御尽力ありがとうございます。目的達成を祈っています。

第46期 古川 光子(生川)

大公孫樹と共に蓬菜園が日本庭園として蘇えるとの事。喜ばしい限りです。喜んで協力させていただきます。蓬菜園の大公孫樹はあの頃の私達の多種多様な悩み事を黙ってきいてくれたいやしの大樹。いつまでもいつまでも、夫々の時代の生徒のつぶやきに耳を傾けていてほしい。

第48期 柿沼 俊子(赤間)

記念誌を送っていただきありがとうございます。忍卒の弟、赤間昌幸が皆様に仲良くしていただき、特にトンちゃんにはお世話になったようで、お手伝い

出来ないのを残念がっていました。

第48期 南部 忠俊

今年3月末に喜寿を迎えます(同期では一番若い!)。齢相応に元気にしています。

第49期 大野 由之(清水)

蓬菜園の大公孫樹の根元で昼休みに5人で写真をとりました。この記念写真は大切に持っています。60年前のことです。

第49期 金子 綾子(岸本)

伝統ある蓬菜園を大切にしたいのでありがとうございします。関係者の方々の御尽力に感謝申し上げます。

第49期 瀬田 佳子

思い出の多い蓬菜園の整備事業に些少ではありますが寄付をさせて頂きます。

第50期 久保田 節子(岡崎)

蓬菜園、大公孫樹、本当に懐かしいひびきです。新しい蓬菜園みてみたいです。

第50期 深沢 利子(於曾能)

蓬菜園でテント張りの練習したこと思い出しています。(ゴメンナサイ)。園を荒らしているという意識は全くなく、只々、楽しかった。青春のコマですね。大事にしたいです:蓬菜園を!

第51期 佐藤 明美(上倉)

授業をぬけ出して蓬菜園で遊んだ思い出がなつかしいです。ぜひ、整備して下さい。

第53期 中澤 建樹

同期の方(赤間昌幸さん、矢田進也さん)の訃報を拝見し、いよいよ我々の世代も:と思いを深くしました。池でザリガニ釣りをしていたことを思い出し、整備後の蓬菜園が楽しみです。

第54期 等々力 美津子

お世話になります。今年古希を迎え、自分の年にびっくりしています。

第55期 山縣 正

意外な人が同窓生だったりして、この年になるとなつかしくうれしく思います。ドスケ(失礼)先生がお元気でこれまたうれしくなつたかしく思います。

## 会費納入のお願い

忍岡高校同窓会の活動は、年会費により支えられています。同封の郵便振替用紙により納入をお願いいたします。

◆年会費 2,000円

◆終身会費 30,000円



振替用紙は年2回の会報発行時に毎回同封しています。振替用紙には年会費の他に寄付や事業への協力金の項目もあり、年会費あるいは終身会費納入済みの会員の方にもお送りすることになっていきます。ご不満かとは思いますが、なにとぞご容赦頂きたくお願い申し上げます。会報発行の他に今後も蓬菜池整備をはじめ母校へのサポートなども積極的に計画していくつもりです。その都度寄付をお願いすることになりますが、よろしくお願い致します。

## みそじ会のお知らせ

第32期 野木・吉岡

今年のみそじ会は、5月24日(金)例年通り、上野精養軒喫茶室で行います。

11時半頃までに自由にお集まり下さい。





## 寄稿

31期1組 岡安(菊田)茂子さんの娘さん、住瀬玲さんから写真同封のお便りをいただきました。

母(岡安茂子)は、2016年3月18日に亡くなりました。連絡が遅くなって申し訳ありませんでした。

実は母が楽しみにしていた100周年が終わるまでは会員のままでいさせてあげようかななどと、私が勝手に思ったのと、あとはいつい遅れてしまったということなんです。このたび94号の会報をいただき、やっとこれではいけないと思いました。



岡安茂子さん  
(昭和19年3月)

晩年の母は認知症を患い、人もつらい日々をおくっておりましたが、その中で、会報が届くと本当に嬉しそうに在学中の思い出を話してくれていました。前回記念誌の一部コピーを

同封していただいて、母の語っていたとおりだなと思いいししました。校歌のCDもあるのと、私もよく歌ってきかされておりました。

また蓬萊園には、母が私と孫を引き連れて見に行き、「駅から大公孫樹がみえたんだよ」と自慢しておりましたが、本当でしょうか。



31期生クラス会 於 後樂園涵徳亭 (1960.1.15)

最後になりましたが、誠に勝手ながら広報部の皆様他それを支える皆様、これからお元気で母のように会報を待っている方々のためにご活動が続けていただくことを心から願っております。長い長いあいだ、本当にありがとうございました。

## 会報発送について

次回96号からは外部委託による一括発送に切り替わることにしました。

従来より会報は、中央区産業会館の集会所を借り、評議員の方々にお集まりいただき、発送作業を実施してまいりましたが、次回96号会報から外部委託による一括発送を行うこととなりました。

理由は、①評議員のいない期が大半を占めており、発送日当日の作業が大量になっている②評議員の高齢化に伴い、発送作業日の参加が難しくなったため発送作業のご依頼が増え、当日の作業量が多くなってきた③外部委託一括発送によりコストが約1割さがら、ことです。過去に名簿・住所データを提供いただいた期については、当会の名簿データベースに登録済みですが、最新のデータを提供いただき、再度確認作業を進めています。当然のことながら、外部委託先との個人情報保護について契約を取り交わしておりますので、まだ名簿・住所録を提供されていない期におかれましては、なにとぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 報 告

(敬称略)

| 期 別  | 氏 名     | 旧 姓 | ご逝去年月日      |
|------|---------|-----|-------------|
| 旧職員  | 後藤 秀雄   | 野村  | 平成31年1月25日  |
| 23・1 | 松原 敏子   | 下村  | 平成30年       |
| 24・2 | 庵野 富美子  | 小川  | 平成30年8月22日  |
| 24・3 | 尾崎 千恵子  | 石井  | 平成30年11月3日  |
| 25・1 | 三好 郁子   | 三町  | 平成26年7月21日  |
| 27・2 | 津田 富貴子  | 中野  | 平成29年12月    |
| 28・2 | 木村 千賀子  | 吉田  | 平成30年11月15日 |
| 29・1 | 廣瀬 千恵子  | 宮沢  | 平成30年4月18日  |
| 29・2 | 栗本 富美子  | 水野  | 平成30年6月24日  |
| 29・2 | 栗本 富美子  | 宮野  | 平成29年10月19日 |
| 31・1 | 岡安 茂子   | 菊田  | 平成28年3月18日  |
| 31・1 | 小林 利枝子  | 吉岡  | 平成30年3月18日  |
| 32・一 | 高田 美枝子  | 山川  | 平成30年6月     |
| 33・一 | 金井 ナオミ  |     | 平成28年12月9日  |
| 33・一 | 河内 エツ子  |     | 平成30年1月26日  |
| 33・一 | 堤 川 敦喜子 | 小原  | 平成30年9月30日  |
| 33・一 | 堤 美タキ   | 荻佐  | 平成30年1月16日  |
| 34・一 | 飯坂 孝子   | 谷中  | 平成29年11月20日 |
| 35・一 | 熊吉 葉子   | 星野  | 平成28年12月13日 |
| 35・一 | 金田 蝶子   | 英井  | 平成30年3月29日  |
| 36・一 | 神谷 貞江子  | 今市  | 平成30年1月1日   |
| 39・D | 大島 知陽   | 神保  | 平成30年11月28日 |
| 40・D | 大島 知陽   |     | 平成29年3月19日  |
| 40・D | 大島 知陽   |     | 平成28年8月1日   |

| 期 別  | 氏 名     | 旧 姓 | ご逝去年月日      |
|------|---------|-----|-------------|
| 40・E | 岡野 晴代子  | 川山  | 平成29年5月     |
| 40・G | 島野 清乃   | 高原  | 平成30年12月5日  |
| 40・H | 池田 房子   | 海藤  | 平成30年       |
| 41・A | 藤小 池康子  | 吉田  | 不明          |
| 42・E | 太田 トシ子  | 黒   | 平成30年7月17日  |
| 42・F | 村田 香須美子 | 鳥井  | 平成30年6月11日  |
| 43・B | 小宮 義照美子 | 今泉  | 平成31年2月     |
| 43・D | 安野 恵美子  | 堤   | 平成31年2月8日   |
| 43・D | 星野 那智子  | 土田  | 平成30年10月    |
| 44・C | 吉沢 鈴代   | 松村  | 平成30年11月    |
| 44・F | 岡古 館琢之次 |     | 平成29年12月27日 |
| 49・D | 鈴木 國勇   |     | 不明          |
| 49・D | 桑名 勝康   |     | 平成27年5月7日   |
| 50・B | 伊藤 満江   |     | 平成30年2月     |
| 51・D | 高角 春光   |     | 平成30年11月    |
| 56・A | 種赤 剛浩   |     | 平成30年11月    |
| 56・C | 上原 幸    |     | 平成30年11月    |
| 56・F | 沢原 幸    |     | 平成30年1月     |
| 63・A |         |     | 平成30年9月10日  |
| 63・G |         |     | 平成19年12月20日 |
| 67・D |         |     | 平成30年12月20日 |
| 77・D |         |     | 平成30年7月30日  |

皆様のご冥福をお祈りします。 合掌。

終身会費納入者一覧 (平成30年11月14日～平成31年 3月31日)

(敬称略)

|     |       |     |       |     |       |     |       |                          |       |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|--------------------------|-------|
| 26期 | 佐藤 隆子 | 42期 | 浅井 雅子 | 56期 | 大内 淑江 | 59期 | 内海 順夫 | 67期                      | 中西 浩子 |
| 35期 | 根橋 勝代 | 43期 | 新山 とし | 56期 | 横井 織江 | 63期 | 天野 智子 | 69期                      | 朽木 和弘 |
| 40期 | 太田八重子 | 55期 | 桃木 安子 | 59期 | 上倉加代子 | 64期 | 鶴本 友子 | *払込取扱票の「送金内訳」欄は必ずご記入ください |       |

鶯溪会協力金納入者一覧 (同上)

単位：千円 (敬称略)

|     |           |    |     |       |    |     |       |    |     |        |     |     |       |    |
|-----|-----------|----|-----|-------|----|-----|-------|----|-----|--------|-----|-----|-------|----|
| 旧職員 | 高木 四郎     | 2  | 38期 | 岩丸 栄  | 2  | 46期 | 高田 良枝 | 5  | 53期 | 白倉 政雄  | 1   | 60期 | 荒井 幸子 | 3  |
| 〃   | 小松 公生     | 6  | 39期 | 高垣 周子 | 6  | 47期 | 白杉 政宏 | 2  | 〃   | 太田 俊江  | 3   | 61期 | 福田浩史郎 | 2  |
| 〃   | 須藤 健児     | 2  | 40期 | 神山 光子 | 3  | 〃   | 田口 彰男 | 15 | 54期 | 54期同期会 | 5   | 〃   | 六本木 建 | 1  |
| 〃   | 浦部万里子     | 2  | 〃   | 長島 恒  | 1  | 〃   | 服部 昌子 | 3  | 55期 | 55期同期会 | 5.2 | 〃   | 押尾 俊司 | 2  |
| 24期 | 久保田睦子     | 2  | 〃   | 山口 幸子 | 2  | 〃   | 古谷トミ子 | 2  | 〃   | 山縣 正   | 10  | 〃   | 鈴木 勝也 | 3  |
| 27期 | 秋田千鶴子(故人) | 3  | 〃   | 矢倉 禧子 | 2  | 〃   | 中田 清子 | 1  | 〃   | 近山 信代  | 3   | 〃   | 星 裕子  | 10 |
| 30期 | 平塚 公子     | 2  | 41期 | 直井 淳子 | 6  | 48期 | 小林精一郎 | 2  | 〃   | 四ノ宮清子  | 1   | 64期 | 和久本敏夫 | 2  |
| 31期 | 岡安 茂子     | 5  | 〃   | 松丸 富江 | 4  | 〃   | 原田 シン | 1  | 〃   | 岩上 芳枝  | 3   | 65期 | 登玉 郷子 | 1  |
| 32期 | 松島 和恵     | 2  | 〃   | 伊藤 京  | 2  | 〃   | 佐藤 佳子 | 2  | 〃   | 桃木 安子  | 4   | 67期 | 森田 泰蔵 | 3  |
| 〃   | 山崎 敏子     | 2  | 〃   | 大沢 勝子 | 3  | 〃   | 水野 正行 | 2  | 〃   | 荒井ハルエ  | 10  | 〃   | 柴田 哲也 | 6  |
| 〃   | 加藤 好子     | 10 | 42期 | 加藤 威郎 | 1  | 〃   | 柿沼 俊子 | 10 | 〃   | 高坂 恵三  | 2   | 〃   | 雪下 正志 | 3  |
| 〃   | 川角 和子     | 1  | 〃   | 藤本 武史 | 1  | 〃   | 山下 美貴 | 1  | 〃   | 辰馬 信男  | 5   | 70期 | 村山 茂則 | 2  |
| 33期 | 宮地 和子     | 2  | 〃   | 斉藤 廣子 | 2  | 〃   | 水野 正行 | 2  | 〃   | 宮川 明久  | 6   | 72期 | 正木富志子 | 1  |
| 34期 | 阿部 松枝     | 5  | 〃   | 高嶋 節子 | 1  | 〃   | 白石美枝子 | 2  | 56期 | 飯岡礼一郎  | 10  | 73期 | 千葉 照彦 | 1  |
| 〃   | 新村 和枝     | 10 | 43期 | 豊住 信子 | 10 | 49期 | 石井 信子 | 2  | 〃   | 佐藤 猛能  | 2   | 34期 | 匿 名   | 5  |
| 35期 | 平村 キヨ     | 3  | 〃   | 馬場 節子 | 3  | 〃   | 石川 貞子 | 3  | 〃   | 飯島 孝夫  | 4   | 45期 | 〃     | 2  |
| 36期 | 辰巳 玲子     | 1  | 〃   | 新山 とし | 3  | 50期 | 鈴木みえ子 | 34 | 〃   | 恵比根ふさ子 | 2   | 46期 | 〃     | 10 |
| 〃   | 安達 鈴子     | 3  | 45期 | 小池 綾子 | 1  | 51期 | 杉本衣美子 | 3  | 〃   | 関 真弓   | 1   | 48期 | 〃     | 1  |
| 37期 | 楠原三代子     | 1  | 〃   | 一宮 園子 | 5  | 〃   | 青山 絢子 | 3  | 〃   | 石川 千恵  | 1   | 59期 | 〃     | 1  |
| 38期 | 河合 敏子     | 2  | 〃   | 渡部 光子 | 5  | 〃   | 酒井 裕子 | 3  | 57期 | 出井 延幸  | 10  |     |       |    |
| 〃   | 飯島 トヨ     | 3  | 46期 | 南畝 清志 | 6  | 52期 | 堀内 長子 | 3  | 〃   | 松本真理子  | 4   |     |       |    |
| 〃   | 小林 好子     | 20 | 〃   | 古川 光子 | 37 | 〃   | 植村 州  | 6  | 58期 | 宮本 弘明  | 1   |     |       |    |

理事活動記録

|        |                     |       |                  |               |
|--------|---------------------|-------|------------------|---------------|
| 1月16日  | 会計システム入力            |       | 1月18日            | 名簿データ整理       |
| 1月12日  | 理事会開催               |       | 1月26日            | 外部発送委託向け名簿打合せ |
| 12月28日 | 名簿データ整理             | 4月24日 | 委託発送分メール便発送予定    |               |
| 12月25日 | 溪会の説明会              | 4月21日 | 会報95号発送予定        |               |
| 12月19日 | 母校にて在校生へ鶯           | 4月13日 | 評議員会             |               |
| 12月8日  | 理事会開催               | 4月12日 | 会報95号校了          |               |
| 12月6日  | 蓬萊園剪定作業打合せ(熊田造園)    | 4月9日  | 母校入学式参列(理事2名)    |               |
| 11月28日 | 名簿データ整理             | 3月30日 | 会報95号第1回校正       |               |
| 11月16日 | 会計システム入力            | 3月26日 | 蓬萊園整備開始(28日まで)   |               |
| 11月10日 | 理事会開催               | 3月19日 | 会報95号原稿入稿        |               |
| 11月4日  | 名簿データ整理             | 3月15日 | 会報95号原稿締切        |               |
| 11月1日  | 会報外部発送委託契約調印(株きかんし) | 3月15日 | 理事会開催            |               |
| 10月27日 | 母校在校生向け会報           | 3月9日  | 母校卒業式参列          |               |
| 10月27日 | 行                   | 3月7日  | 学校運営協議会(高校)に会長出席 |               |
| 10月26日 | 評議員会開催その後           | 2月27日 | 会報95号編集会議        |               |
| 10月24日 | 合せ(株きかんし)           | 2月16日 | 理事会開催            |               |
| 10月18日 | 会報94号校了             | 2月13日 | 名簿データ整理          |               |
|        | 会報外部発送委託打           | 2月15日 | 会計システム入力         |               |

◆編集後記◆

鶯溪会会室の電話機が故障し留守番電話・ファックスが不通になり、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます(電話機を買いました)▼前号会報94号は約1万2千部のうち約5千部を外部委託発送したが、これまで(会報発送作業日に参加できなかった)自宅から発送してこれれた評議員より、名簿データを提供いただき、今回95号は、約8千部を外部委託発送することができた▼鶯溪会が管理している名簿データは、郵便・ファックス・Eメール等で住所変更、訃報のご連絡をいただき都度メンテナンスを行っているが、毎回180通ほどの宛先不明便が戻っている。名簿データをいかに新鮮に保つかがこれからの課題だ▼1ページに案内の定期総会には、多くの会員に参加いただきたい▼災害が多かった平成時代が間もなく終わる。在校生達が卒業し社会に巣立って、よき『令和時代』を担ってくれることだろう。

(広報担当)